

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:2024年2月

事業所名

デイサービスまりも

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			読書・学習・活動スペース等、活動内容に適したスペースを設備しております。
	2	職員の配置数は適切である	○			ガイドラインに沿った配置数や有資格者を配置しております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			使用する空間はバリアフリーになっており、必要と思われる個所には手摺りを設置している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			活動スペースや送迎車などの清掃消毒を徹底しております。今後も子ども達の居心地の良い空間づくりに努めていきます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			施設会議等でミーティングを行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			頂いたご意見を受け止め、業務改善に努めていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			集計結果はホームページにて公開しています。今後、公開していることを保護者の方にも知って頂けるよう努めます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			毎月、社内で勉強会を開催し職員のスキルUPに努めています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			専用のシートを設け状況把握に努めているが、より良い物があれば活用していきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			モニタリング等で必要な支援に対してお伝えしておりますが、送迎の際にも適時伝えて行くよう努めます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			支援計画に沿った取り組みを行うと共に、初めての体験等を通し興味を伸ばしたり発見をする楽しさを知ってもらっています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			ミーティングで活動内容を話し合い決めていきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			多くの事を経験して貰えるように活動を固定化しないようにしております。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			集団での体験を重視しつつ個々の支援についても話し合い計画を決めている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			開始前にミーティングを行っています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			活動や送迎での様子などをミーティングで伝え合い共有しています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			ミーティングで様子を伝え合うと共に支援の取り組みについて協議しています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			送迎時などで常にご家庭での様子をヒヤリングしています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			出来る限り、児童発達支援管理責任者、施設長の2名で参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			保護者参加型イベントを開催して、保護者同士の交流を図っております。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		該当者がおりません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		該当者がおりません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			利用開始時や送迎時等に情報の共有を図っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			利用開始時や送迎時等に情報の共有を図っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			繋がりのある事業所主催の研修会に参加させていただいております。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		地域主催の球技大会に参加等、障がいのない子どもとの活動や交流を行っております。	地域主催の球技大会等に参加し、障がいのない子どもとの活動や交流を行っております。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			事業所の部会に参加している。また、今後も繋がりを広げ地域交流を図るためにも積極的に参加していくよう努めます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時やlineを活用し常時様子をお伝えして発達の状況を伝えていますが、共通の理解を深めていけるように努めていきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時にお伝えしておりますが、ご質問があれば常時お伝えしております。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			ガイドラインに基づき計画を作成し、モニタリング時や送迎時に保護者へ説明して同意を得ています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			送迎時やlineを活用し子育て等の状況をヒヤリングし適時話をしています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者参加型イベントを開催し、保護者同士の交流や連携を図っております。	保護者参加型イベントを開催して、保護者同士の交流を図っております。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			迅速な対応を心がけておりますが、今後も対応等に不備が無いよう情報共有等を徹底し整備していきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			ブログにて活動内容を発信していますが、周知して頂けるよう送迎時などに発信状況をお伝えしていきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			今後も利用者や保護者の方にわかりやすくなる様に伝え方に配慮していきます。
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			地域住民を招待する事業は取り組んでいませんが、認識して頂けるよう挨拶等で話をしています。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			感染症マニュアルや台風時の利用に関してのマニュアルなどのお知らせをプリント等を配布物を通して説明している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		利用者と共に防災センターでの研修に参加し、年二回以上の防災訓練を行っております。	利用者と共に防災センターでの研修に参加し、年二回以上の防災訓練を行っております。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			契約時やモニタリング時などで様子をヒヤリングしています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			契約時やモニタリング時などに様子をヒヤリングすると共に適時、必要な対応しております。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			毎日ミーティング時に伝えて記録している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			勉強会やミーティング等で研修を行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			身体拘束の可能性について、モニタリング時等で説明していると共に、支援計画書に記載している。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。